

## 令和4年度板橋区立リサイクルプラザ指定管理者及び 管理運営業務に係る評価結果について

### 1 指定管理者

- (1) 名称 Sh o P r o ・板建総共同事業体  
代表団体 株式会社小学館集英社プロダクション
- (2) 所在地 東京都千代田区神田神保町二丁目30番地 昭和ビル
- (3) 指定期間 令和2年4月1日から令和7年3月31日まで（5年間）

### 2 施設概要

- (1) 施設名 板橋区立リサイクルプラザ
- (2) 所在地 板橋区舟渡四丁目16番6号
- (3) 開設 平成18年1月27日
- (4) 建物概要 敷地面積：6,028.2 m<sup>2</sup> 延床面積（プラザゾーン 1,584.86 m<sup>2</sup>）  
建物規模：鉄骨造一部鉄筋コンクリート造 地上3階 地下1階  
主な施設：多目的室、処理ゾーン見学通路、野鳥観察舎、シャワー室

### 3 主な事業内容

- (1) 資源の有効利用、ごみの問題等に関する資料の収集及び情報の提供に関すること
- (2) 不用品の再生、展示、提供等に関すること
- (3) 資源循環型社会に関する学習及び活動の場の提供に関すること

### 4 評価概要

- (1) 目的 効率的な運営やサービス水準の維持・向上、利用者の安全対策など、適切に運営されているかどうかをモニタリングし、客観的に評価・検証を行う。
- (2) 評価者 板橋区立リサイクルプラザ指定管理者評価委員会
- (3) 評価委員会の構成 5名（外部委員2名、内部委員3名）
- ・リサイクルに関して専門的知識を有する者  
（NPO 法人生ごみリサイクル全国ネットワーク板橋代表）
  - ・利用者代表
  - ・板橋区資源環境部長
  - ・板橋区資源環境部環境政策課長
  - ・板橋区資源環境部資源循環推進課長
- (4) 財務状況点検及び労働条件点検  
指定管理者法人の財務状況及び施設従業員の労働条件点検については、外部専門家に委託し、点検結果を基に評価を行った。
- ア 財務状況点検
- 委託先 東京税理士会板橋支部
- 委託期間 令和4年7月12日～8月3日
- 実施内容 過去3年間の法人決算書等の計算書類による点検  
（5段階評価及び所見）

## イ 労働条件点検

委託先 東京都社会保険労務士会板橋支部

委託期間 令和4年7月12日～8月15日

(ヒアリング実施日：7月21日 於：リサイクルプラザ)

実施内容 書類審査・指定管理者ヒアリング及び従業員面接

(5段階評価及び所見)

### (5) 評価委員会の開催

令和4年9月13日(火) 於：リサイクルプラザ

書類審査、現地調査及びヒアリング、評価シートの採点、総合評価の協議・決定

## 5 評価項目

- (1) 施設の経営方針に関する事項
- (2) 行動規範に関する事項
- (3) 管理体制に関する事項
- (4) 管理活動に関する事項
- (5) 業務改善に関する事項

## 6 評価方法

評価シート・評価基準に基づき、書類審査、現地調査及びヒアリング等により、各委員が評価項目ごとに5段階で採点・評価を行い、各委員の採点の合計により総合評価とする。

### ① サービス水準の評価基準

5点・・・達成率100%以上

4点・・・達成率90%以上 100%未満

3点・・・達成率70%以上 90%未満

2点・・・達成率50%以上 70%未満

1点・・・達成率50%未満

### ② 管理運営等の評価基準

5点・・・要求水準を上回る成果を出している

4点・・・要求水準どおりの成果を出している

3点・・・要求水準を概ね満たしているが、工夫の余地がある

2点・・・要求水準を満たしていない

1点・・・要求水準を著しく下回っている

### ③ 総合評価基準

833点以上(9割以上)・・・特に優れている

740点以上(8割以上)・・・優れている

555点以上(6割以上)・・・適正である

370点以上(4割以上)・・・やや劣る

369点以下(4割未満)・・・劣る

## 7 評価結果

評価点：712点 ※詳細は別紙「指定管理者評価シート」のとおり

評価：適正である 得点率：77.0%

施設概要

施設名称	板橋区立リサイクルプラザ	所在地	東京都板橋区舟渡四丁目16番6号
所管課名	資源循環推進課	指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日 (指定第1期)
指定管理者名	ShoPro・板建総共同事業体	指定管理者の所在地	代表団体 東京都千代田区神田神保町二丁目30番地 昭和ビル
設置目的	リサイクルプラザは、資源の有効活用に関する区民意識の啓発並びに知識及び経験の普及を図り、資源循環型社会の形成に寄与することを設置の目的とする。		
基本理念	<p>①利用価値向上の視点 ごみ減量・リサイクルを視野に入れたイベント・各種講座・不用品のリユース等の事業を展開することで、リサイクルプラザの認知度、来館者及び利用機会の増加を図り、施設の独自性を活かした利用価値の向上を目指す。</p> <p>②人材育成機関の視点 環境負荷の少ない生活様式や資源循環型社会の理想像を掲げ、長期的な視点(ストーリー性)を持って、独自性ある事業を展開することで、ごみ減量・リサイクル意識の高い人材の育成機関としての位置づけを目指す。</p> <p>③能動的活動の視点 リサイクルプラザが主導して、地域、教育機関、企業、各種団体等へ積極的に働きかけを行い、成果のみえるごみ減量・リサイクル活動を展開することで、資源循環型社会の核となる位置づけを目指す。</p>		
行動規範	<p>① 東京都板橋区立リサイクルプラザ条例、その他関係法令マニュアル等の遵守</p> <p>② 環境に配慮した管理運営と安全・安心で快適な施設環境の提供</p> <p>③ 利用者サービスの向上と施設利用者数の増加</p> <p>④ 区民意見の管理運営への反映</p> <p>⑤ コスト削減を意識した事業運営</p> <p>⑥ 利用者ニーズの把握と利用者目線での魅力ある事業実施</p> <p>⑦ 積極的な事業展開と新鮮な情報提供</p> <p>⑧ SDGs(持続可能な開発目標)に向けた取組みの実施</p>		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の利用許可等、利用者への必要なサービスの提供に関する事。</li> <li>・不用品の収集及び提供、利用料金の收受等に関する事。</li> <li>・リサイクルプラザの施設の管理運営に関する事。</li> <li>・リサイクルプラザの施設の利用に関する事。</li> <li>・リサイクル等に関する知識等の普及・啓発に関する事。</li> <li>・リサイクルプラザの施設及び付属設備の維持管理に関する事。</li> <li>・危機管理に関する事。</li> <li>・その他区が必要と認める業務。</li> </ul>		

評価結果

評価項目	評価の視点	評価委員会評価
<b>【施設の経営方針に関する事項】</b>		
1 施設の現状認識・取り巻く環境の理解・管理運営の方向性		
施設の現状認識並びに経営方針	施設の設置目的や基本理念、行動規範などを踏まえた現状認識並びに経営方針を確立しているか	21点/25点

評価項目	評価の視点				評価委員会評価	
2 経営方針に基づく具体的な行動						
	基本理念	具体的な目標	サービス水準	目標値・実績値		
基本理念の達成に向けて、経営方針に基づく具体的な目標や取組、サービス水準を設定し、業務に取り組んでいるか	①	利用者の増加	来館者数	目標 27,000人	実績 22,698人	15点/25点
	①	駐車場利用台数の増加	駐車台数	目標 3,050台	実績 3,209台	25点/25点
	①	シャワー利用者数の増加	利用者数	目標 420人	実績 205人	5点/25点
	①	多目的室の利用増加	利用件数	目標 85件	実績 237件	25点/25点
	①	家具回収	回収点数	目標 610点	実績 656点	25点/25点
	①	家具販売	販売点数	目標 560点	実績 633点	25点/25点
	②③	イベント	実施回数	目標 25回	実績 29回	25点/25点
	②③	パネル展	実施回数	目標 6回	実績 11回	25点/25点
	②③	体験講座	実施回数	目標 56回	実績 36回	10点/25点
	②③	出張講座	実施回数	目標 14回	実績 15回	25点/25点
	①	アンケート	イベント満足度合	目標 90.0%	実績 97.1%	25点/25点
	①	情報誌	配布部数	目標 48,000部	実績 13,530部	5点/25点
	③	ボランティア・NPOとの連携	実施回数	目標 6回	実績 10回	25点/25点
	②	職場体験	実施回数	目標 4回	実績 2回	10点/25点
	小 計					291点/375点(77.6%)
	<b>【行動規範に関する事項】</b>					
法令順守	法令遵守(法令、区条例、区規則、その他区が定める規程及び協定書に則り、信義に従い誠実に対応しているか)				22点/25点	
暴力団等の排除	暴力団等の排除(暴力団等の排除について適切に対応しているか)				22点/25点	
平等な利用の確保	平等な利用の確保(特定の団体や個人に偏ることなく、平等な利用実態となっているか)				21点/25点	
ノーマライゼーション	ノーマライゼーション(障がい者や高齢者等に配慮した運営となっているか)				20点/25点	
小 計					85点/100点(85%)	



評価項目	評価の視点	評価委員会評価
<b>【管理体制に関する事項】</b>		
職員の雇用形態	職員の雇用形態(施設運営に責任の担える安定的な雇用形態となっているか)	15点/25点
職員の労働条件	職員の労働条件(労働法規等を遵守した適正な勤務体制となっているか、職務能力等に対応した適正な給与体系が整っているか、休暇制度や職場環境の改善、福利厚生制度等就業状況に配慮がなされているか)	15点/25点
職員の配置体制	職員の配置体制(適正な職員配置となっているか)	17点/25点
職員の専門性	職員の専門性(必要な専門性を備えた職員が配置されているか)	17点/25点
職員の研修体制	職員の研修体制(職員の指導育成、研修体制は適切であるか)	17点/25点
危機管理体制	危機管理体制(事故・災害などに対する綿密な危機管理体制が整っているか、BCPや災害対応マニュアルの内容は適切であるか)	20点/25点
安全対策	安全対策(利用者の安全についてきめ細かい対策がとられているか)	20点/25点
情報管理	情報管理(個人情報の保護等に関する指導の徹底など、対策は万全か)	21点/25点
地域貢献	地域貢献(区内事業者の活用、区民の雇用など地域への貢献、地域との連携への配慮がなされているか)	20点/25点
小 計		162点/225点(72%)
<b>【管理活動に関する事項】</b>		
経済性・効率性	経済性・効率性(費用対効果は適切か、当初の目標どおり管理運営経費が縮減されているか)	17点/25点
妥当性	妥当性(管理運営経費は、その内訳を含め妥当であり、適正に執行されているか)	18点/25点
設備の保守点検	設備の保守点検(設備機能の維持に向けた保守点検は適切であるか)	20点/25点
再委託業務の妥当性	委託業務の妥当性(委託されている業務の範囲は適切であるか)	21点/25点
備品の管理	備品の管理(備品の機能維持に向けた保守点検等は適切になされているか、購入備品の登録手続きに遺漏はないか)	22点/25点
環境対策	環境対策(区の環境施策を理解し、省エネ、省資源など地球環境に配慮した管理運営がなされているか)	21点/25点
施設の利用促進	施設の利用促進のため、積極的な広報活動に取り組んでいるか	18点/25点
小 計		137点/175点(78.3%)

評価項目	評価の視点	評価委員会評価
<b>【業務改善に関する事項】</b>		
アンケート結果への対応	アンケート結果への対応(利用者アンケートの結果を踏まえた対応は適切か)	18点/25点
要望への対応	要望への対応(利用者からの苦情や要望等を把握する取組はなされているか、その対応は迅速かつ的確か)	19点/25点
小 計		37点/50点(74%)
合 計		712/925点 (77.0%)

\* サービス水準の採点方法

(5点:達成率100%以上、4点:達成率90%以上100%未満、3点:達成率70%以上90%未満、2点:達成率50%以上70%未満、1点:達成率50%未満)

\* 管理運営等の採点方法

(5点:要求水準を上回る成果を出している、4点:要求水準どおりの成果を出している、3点:要求水準を概ね満たしているが工夫の余地がある、2点:要求水準を満たしていない、1点:要求水準を著しく下回っている)

評価委員会評価 (評価委員会)	経営基盤に関する評価 (中間年)	安定的な管理運営を行える経営基盤を有しているか【財務状況点検結果が5段階評価において3以上「○」、2以下「△」】	○
	総合評価	<p>[評価できる点]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフの対応がとても良い。</li> <li>・講座終了後もメールでの質問等、講師との連携が考えられている。</li> <li>・創意工夫、優しさのあるプラザになりつつある。</li> <li>・展示・HPが充実している。</li> <li>・比較的施設の清掃が行き届いている。</li> <li>・目玉事業である【ゼロウェイストプロジェクト】を毎年改善している。</li> <li>・家具等のリサイクルについて、利用者に使いやすい形に変えている。</li> </ul> <p>[助言・指導・勧告・命令の内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者や障害者が来やすい、楽しい講座を増やしてもらいたい。</li> <li>・交通の便が悪い分、工夫が必要である。</li> <li>・多目的室に卓球台は不要である。</li> <li>・講座の専門性より、一般にわかりやすい講師の人選が必要である。</li> <li>・荒川が目の前にある立地を生かした事業展開が必要である。</li> <li>・出前型の事業についてより積極的に検討し、認知向上、利用者の増加を図ってもらいたい。</li> </ul>	適正である

\* 総合評価の採点方法(二次評価の合計点)…特に優れている(9割以上)、優れている(8割以上)、適正である(6割以上)、やや劣る(4割以上)、劣る(4割未満)